

特定非営利活動法人

東備子どもNPOセンター

LEAF事業本部
備前支えあい事業

〒705-0021 岡山県備前市西片上1277-1
Tel.&Fax. 0869-92-4576
<http://leaf.toubikids.com/>
e-mail: info@leaf.toubikids.com

東備子どもNPOセンター事務局

文化芸術推進事業・子どもの諸活動支援事業・子育てに関する支援事業
(備前市ファミリーサポートセンター)
〒705-0021 岡山県備前市西片上32-1
Tel.&Fax. 0869-64-0582
<http://toubikids.com/>

ゆうゆう舎

地域活性化支援事業
〒705-0021 岡山県備前市西片上1276
<http://www.toubikodomo-npo.com>

あなたの力をまちに!

備前支え合い事業2015 報告書

Locally Exchanging Abilities for the community's Future



NPO法人 東備子どもNPOセンター

目次

はじめに	1
LEAFとは?	2
事業所開き	4
説明会の開催	5
プチフォーラムの開催	6
支え合い活動	8
交流会の開催	12

はじめに

2015年10月、地域交流促進・生活支援・三世代子育て支援を柱として、
「あなたの力をまちに!備前支え合い事業 LEAF」がスタートしました。

少子高齢化・人口減少・核家族化の進行に、血縁や地縁による支え合いが難しくなっており、
介護や子育てをする家庭や一人で地域に暮らす高齢者の孤立が大きな問題となっています。
更に、介護保険法の改正により高齢者の生活が大きく変わってくると懸念されています。
また、全国的にも介護離職は大きな問題となっていますが、
当事者だけでなく、高齢者を支える家族への負担も益々大きくなってくると考えられます。
そしてこのような問題は介護だけでなく子育てなどの分野でも発生しています。

高齢者をはじめとした地域で生活していくうえで課題や問題を抱えている人たち、
そして介護や子育てを担う家族の生活を地域全体で支え、
皆が自分らしく安心して暮らせる仕組みをつくること。
世代を超えて様々な人たちがつながり、様々な力が育ち、
輝く機会や場を身近な場所につくること。それがこの事業の目的です。

今年度は、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成により、
行政や様々な専門分野で活躍されている他団体の皆さんのご協力を得ながら本事業を立ち上げました。
この報告書は、その成果をまとめたものです。
実施にあたっては、
多方面より多くのご支援とご理解をいただきました。
皆様のご厚情に大変感謝いたしております。本当にありがとうございました。
来年度もこの活動が地域に広がっていくためには皆さまの力が必要です。
今後ともよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 東備子どもNPOセンター
代表理事 金本明子

あなたの力をまちに!
備前支え合い事業2015

報告書

LEAFとは？

あなたの力をまちに！ 備前支え合い事業

備前支え合い事業LEAFは、地域交流・生活支援・多世代子育て支援を柱に、さまざまな世代が交流・活躍できる場や機会を創ることを目指す事業です。子どもから大人まで、地域の多様なちからを引き出し、世代を超えたつながりを築いて、誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくりの輪をひろげます。

愛称の「LEAF」は「Locally Exchanging Abilities for the community 's Future」を略したものです。「地域の未来のために、地域の人たちのいろいろなちからを交換しましょう」というメッセージから生まれました。

内容と目的

生活支援

サービス提供によって、日常生活の様々な問題解決に取り組み、誰もが自分らしく暮らし続けられるまちづくりをおこなう。

多世代子育て支援

多様な世代の人に子どもたちや子育て家庭にかかわってもらい、子どもの育ちを見守り、支える環境を構築する。また、子育て中・後の人たちの社会参画を多角的に支援する。

地域交流推進

地域に暮らすさまざまな人たちが世代を超えて関わり合う場や機会をつくる。

セーフティーネットの構築

子育て・介護など、困った時に「助け」を求められる、悩みを相談できるつながりをつくる。

イベント企画・開催

交流イベントをはじめ、講習会や講演会などを開催する。誰でも気軽に参加して楽しめる場、意見を交換できる場を設ける。

その他

会員・住民のニーズに応える活動

有償ボランティアによる支え合いの仕組み

「LEAF」は、地域の様々な力やスキルと日常生活における「困り事」をつなぐシステムです。

活動の謝礼のやり取りは基本的に事業本部発行のLEAFチケットでおこないます。

1、会員登録

できること、して欲しいことを登録します。

2、利用希望

困ったことができたなら、事業本部に連絡します。

3、マッチング

コーディネーターが、登録情報に基づいて協力できる会員を探し、協力を依頼します。

4、活動

利用者・協力者の同意が成立したら、活動がおこなわれます。初顔合わせにはコーディネーターが必ず同席します。

LEAFサービス料金表

活動時間	協力謝礼	寄付分 (運営費)	交通費	利用料金 (謝礼+寄付+交通費)
30分	3点 (300円)	1点 (100円)	2点 (200円)	6点 (600円)
1時間	6点 (600円)	2点 (200円)	2点 (200円)	10点 (1000円)
1時間30分	9点 (900円)	3点 (300円)	2点 (200円)	14点 (1400円)
2時間	12点 (1200円)	4点 (400円)	2点 (200円)	18点 (1800円)



- LEAF入会金：1,000円 ●LEAF年会費：3,000円
- LEAFチケット1綴り＝8,000円(80点) 1点＝100円(換金可能)】

- 同行・外出：協力者の自家用車使用時は、協力者宅出発から帰宅までを標準活動時間とします。
- 同行・外出の実費：実費は活動時にその都度、現金で清算。
- 交通費(電車代、タクシー代等)、駐車料金、道路使用料、ガソリン代(1km/20円)は、利用者負担。
- LEAFチケットは、将来自分や家族がLEAFサービスを利用するときの為に貯めておくことができます。
- その他は事務局と別途、打ち合わせとなります。

●LEAFの母体

特定非営利活動法人 東備子どもNPOセンター

1991年「子どもたちに夢をたくましく豊かな創造性を！」を活動のコンセプトに東備子ども劇場としてスタート。2002年に特定非営利活動法人格を取得。子どもの文化・芸術に関する活動、子どもの諸活動に関する支援、子育てを応援する活動「ファミリーサポートセンター事業」など、県内のあらゆる団体や行政ともネットワークを構築し、子どもの育ちを支えたい、子どもたちと共に育みたいと活動を続けている。また2010年、地域支援事業として、世代を越えた地域の集いの場「ゆうゆう舎」の運営を開始。週2回地産地消の食堂をひらき、月1回サロンを開催している。



LEAFと特定非営利活動法人 東備子どもNPOセンターの本部事務所「海望亭」



事業所開き

●2015年9月14日(月)

「あなたの力をまちに!備前支え合い構築事業・LEAF」の本部となる事務所のお披露目と事業説明会を兼ねた事務所開きをおこなった。連携団体代表者、市議会議員、市民協働課の職員などに参加いただいた。LEAFの本部事務所は、「海望亭」と呼ばれた、落ち着いた雰囲気古民家で、小さな縁からは、風情のある庭が眺められる。

講演

認定特定非営利活動法人 子ども劇場笠岡センター

代表理事 宇野均恵氏

「これからの地域包括ケアについて」

笠岡市では数年前より、すでにこの支え合いシステムを立ち上げ、井原などの周辺地域を巻き込んで、地域のセーフティーネットの役割を果たしている。本事業の先駆けとして、行政や自治体、企業などとの連携体制について状況や課題等について説明された。

事業説明・質疑応答

東備子どもNPOセンター 代表理事 金本明子

本事業概要・目的・展望・スケジュールなどの説明を行い、連携団体とのこれからの協力・連携体制についても確認をした。備前市より、介護保険関係資料の提供をいただき、本事業の背景・緊急性も感じてもらったように思う。

連携団体の人たちから、応援・期待の声を聞かせてもらい、心強く思った。

参加団体(50音順・敬称略)

- 認定特定非営利活動法人・子ども劇場笠岡センター
- 備前市自治会連絡協議会
- 備前市社会福祉協議会
- 備前市地域包括支援センター
- びぜん女たちの会
- 備前商工会議所
- ふれあいサポート・ちゃていず



説明会の開催

事業の周知とサービスの主な担い手となる協力会員を募集するため、市・包括支援センターの協力を得て、市内8地区において、事業説明会を開催した。なお、実施にあたり、備前市地域包括支援センターの協力を得た。

- H.27年10月15日、伊部地区、香登地区
- H.27年10月16日、西鶴山地区、片上地区
- H.27年10月27日、東鶴山地区
- H.27年10月28日、伊里地区
- H.27年10月29日、三石地区
- H.27年11月5日、吉永地区

東備子どもNPOセンター・LEAF事業本部

●助け合い・体験ゲーム

グループに分かれ、カードを使っておこなった。自分が誰かに協力できることに気付いてもらうとともに、「助けてほしい」と声に出すことの難しさなどを体験してもらった。

●事業説明・質疑応答

パワーポイントを使い、事業立ち上げの背景や目的、事業の内容やチケットの使い方などを説明。やはりリスクに対する不安や懸念などの発言・質問が多かったので、保険についてやサポート体制についてもしっかり説明をおこなった。

備前市包括支援センター

現在の備前市の高齢者人口、要介護・要支援者の状況、介護保険制度の仕組みとその改正に伴うこれからの市の総合事業についての説明。

参加者からは、地域のこれからや自分のすべきこと・できることを考えていく良い機会になったとの声があった。一方で、行政が要支援の人たちへのサービスを切り離すことへの不安や怒りの声も多く聞かれた。以降も自治協議会や地区長会などに声を掛けていただき、公民館等で事業説明会・広報活動を行った。



備前交流 プチ・フォーラムの開催

●2015年12月20日 備前市民センター

基調講演

特定非営利活動法人 みんなの集落研究所
首席研究員 阿部典子氏

助け合いはなぜ必要?

超高齢化社会と人口減少を迎える全国の動向、団塊の世代が75歳に到達する2050年問題、介護者の人手不足や介護離職などの問題から見えてくるこれからの地域づくりの必要性。備前市は、高齢化社会が全国に比べ、10年先駆けてやって来ることがグラフで示され、地域づくりが急がれる。

地域づくり活動事例紹介

岡山県内における地域づくり活動の事例報告。地域のニーズに耳を傾け、手の届く範囲から始めることが大事である。

紹介された、出し惜しみしない、できないフリをしない、あきらめない、「誰かがどうにかしてくれる」なんて甘えないという言葉が印象的でした。

ディスカッション

7~8人のグループに分かれ、地域の課題や活動について自由に討論した。

参加者より

- 市内の事業所などでも、介護保険の改正の影響が様々な形で起こってきている。支援を望んでいる人はたくさんいるはずだが、間に合っていない。
- 声を出せずにいる人も多い。そのような人たちにどう支援をしていくべきか考えなければいけない
- 自治会でも自立支援や介護予防に向けた取り組みや研修を始めているが「生活支援」においては、支え手の及ばないところがある
- 地域包括ケアの構築、ネットワークづくりが必要
- スキルを活かした支え合いを近所の有志で始めようとしたが、人が集まらなかった。尻込みする人も多い。

地域の人に協力したいと思う一方でなかなか一歩が踏み出せない人の声や、友人同士や地区などで様々な協力・活動をしている人たちからのアイデアやアドバイス等も聞け、新たな課題や展望を持てました。



支え合い活動

11月より本格スタート。これまでに外出支援をはじめ、家事支援、話し相手、リノベーションなどの活動がおこなわれました。

最初の利用希望は、岡山大学病院への受診同行支援でした。家族と同居の高齢女性で、仕事が休めない家族の代わりの援助でした。協力してくださった会員さんは長時間にも関わらず、気持ちよく同行してくださいました。今まで様々な活動が行われましたが、「活動中にいろいろな話を聞いてくれて嬉しかった」、「病院の受付も親切に説明してくれて、助かった」、「今まで何ともならなかったことがしてもらえて助かる」と本当に喜んでいただいています。そんな会員から寄せられた声の一部紹介します。



利用者より

●90代女性(掃除援助)

ほとんど自分で出来ますが、数年前に圧迫骨折してから、かがんだり、重い掃除機を使ったりするのがしんどくなりました。週に一度、曜日を決めて掃除に来てもらっています。今はその日を楽しみにしています。月に一回はシーツ交換も頼んでいます。病院受診の手伝いも頼みたいと考えています。

●80代女性(外出支援)

朝早くから病院に連れて行ってくれるから、助かっている。協力者の人と車の中で話をするのも楽しい。

●90代女性(外出支援)

銀行や郵便局へ行くのに困っていました。同行していただいて、説明までしてもらえたからとても助かりました。

●60代女性(リノベーション)

傾いていた庭の板塀を修理してもらいました。長い間お隣に迷惑かけていましたが、自分ではどうにもならず気になっていました。立派に修理していただいて、庭全体が生き返ったようです。ありがとうございました。

●20代女性(英語サポート)

海外の金融機関とのやりとりをサポートしてもらった。専門用語も多いうえに、大切な情報のやりとりなので、サポートが受けられて心強かった。



支え合い活動

家族より

●家族(外出支援)

透析を受けている母親と同居することになりました。仕事を辞めないといけないのではと悩みましたが、週3回のうち2回の乗降援助と送迎がお願いできることになって、仕事を続けることができました。ほんとうに感謝しています。

●家族(話し相手)

話し好きで活動的な義母でしたが、90歳を過ぎると昼間も寝て過ごすようになったので、少しでも刺激になればと思い、LEAFさんに義母の話し相手をお願いしています。機嫌良く会話をしているようで安心しています。



協力者より

●70代女性(外出支援・話し相手)

最近LEAFの活動に行くことが増え、ますます元気でいなくなっちゃうようになって生活に張りも出来ました。頼られるって嬉しいものですね。預託しておいて、将来自分が困った時に助けてもらおうかなと思っています。

●50代女性(外出支援・掃除)

東備子どもNPOセンターには、子どもが小さい頃ファミリーサポートでお世話になりました。今度はお返しのつもりで協力させてもらっています。でも、「ありがとう!」の言葉で励まされてもいます。

●60代男性(リノベーション)

最初は男の私にどんな協力ができるかな・・・と思ったが、何か自分に出来ることがあればと思って入会した。思いがけなく早く依頼をいただいて、これまでとはちょっと違った経験になった。

●40代女性

90歳の祖母がいます。ペットボトルのふたが開かない、と、祖母は自力で開けようとペンチを持ち出し失敗したそうです。40代の自分が難なくこなせることが数十年先の自分にとっては難くなる。「ちょっとしたこと」「こんなの本当に頼んでもええんじゃないか」と思うようなことを誰かが手伝ってくれると日常生活が少し楽になる。

LEAFに参加して5 か月、これまでに通院の送迎、検査の同行などの活動をしました。活動前には利用者の方や活動内容について丁寧な説明があり、利用者の方と初めて会う際にはスタッフの方が同行してくれました。協力者の話にもじっくり耳を傾けてくれ、質問に答えてくれるので、安心して活動することができています。車の中では、利用者の方と楽しく話をしながら目的地に向かっていきます。これからも無理のないペースで活動を続けようと思います。そしてLEAFの活動が広がってゆくといいなと思っています。



交流会の開催

●2016.02.28(日) ゆうゆう舎

会員同士の親睦を深めることを目的に開催した。やや緊張した様子のスタートだったが、流行の顔ヨガ、パンケーキ作りと進むにつれて、すぐに打ち解けることができた。懐かしい備前の話から家族の話まで、話題は尽きず、年代や性別が本当にバラバラな人たちの交流だったにもかかわらず話が弾んだ。いろいろな考えや価値観が素直に共有出来、とても面白い、楽しい交流会で、あっという間の時間であった。

参加者から本部に届いたお礼のメールをご紹介します。

「今日は朝からちょつとしたことがきっかけで、大変ご機嫌が悪かった義母でした。でも閉会后、義母が皆さんとお話をさせていただいたおかげで、今はすっかり気分が良くなり、私は助かりました。連れて行ってよかったです。たぶん、お話の聞き役として、少しお役に立てたことが義母の気分を明るくしたのだと思います。外出の機会をいただき、本当にありがとうございました。」

普段の活動の中では、やはり協力者・利用者という関係があるため、少しお互いに遠慮もあるようだが、今回の会では、利用・協力関係を越え、普段とは違った新しいかかわりができた。高齢者などの家の中の生活が中心の方たちや、普段は協力される側に立つ方たちにとっては、社会参画へのちからにもなったようだ。地域に出て、世代を超えてかかわりあえる、今回のような交流の機会を少しずつ広げていけたらと思う。



あとかき

2015年の10月にLEAF事業が本格始動し、私も初めての事ばかりで戸惑うことも沢山ありました。

あれから半年が経ち、たくさんの方に出会い、学び、まだ日々が勉強の毎日です。

会員さんの数も、活動数もだんだんと増えています。利用を希望される方のお宅を訪ねヒアリングに入った時、「こんな事業が出来て嬉しい」「困っていたから早速会員になりたい」「頼りにしている」などの声をいただきました。コーディネーターとして嬉しく、困っている人の役に立ちたいと強く思いました。

現在、どんどん増えている利用したいと考えている人の数や内容を、協力できる会員さんの数、内容が追いかけている状態です。もっと多くの方にLEAFを知って頂き、協力していただける会員さんを増やしたい。そして気持ちよく、楽しんで協力してもらいたい。その為に、協力を考えている方や実際に協力をしている方たちに対するサポートをさらにしっかりしていきます。「支え合い」という言葉通り、絆が深まり安心して豊かに暮らせる備前市にしていけるよう、私自身邁進していきます。

今後ともLEAFを宜しくお願い致します。

LEAF事業本部
コーディネーター 岡崎美貴

あなたの力をまちに! 備前支え合い事業LEAFは、
県内のさまざまな団体とネットワークを組んでおこなっています。

●連携団体

備前市
社会福祉法人 備前市社会福祉協議会
備前商工会議所
備前市自治会連絡協議会
認定特定非営利活動法人 子ども劇場笠岡センター
特定非営利活動法人 ふれあいサポート チャていず
びぜん女たちの会
備前地域子育てネット きらきら

●協力

伊部自治会協議会
片上地区自治会連絡協議会
特定非営利活動法人 移動ネットおかやま
特定非営利活動法人 NPOきらめき広場
特定非営利活動法人 元気交流クラブ たけのこの家
特定非営利活動法人 スマイル・ちわ
特定非営利活動法人 備前プレーパークの会
特定非営利活動法人 みんなの集落研究所
手すりの会